

第56回

富士地区少年剣道大会



日 時／ 令和8年3月8日(日曜日)
午前8時30分集合 9時30分開会
会 場／ 富士市立富士川体育館(富士市木島89-1)

主催 富士市剣道連盟

1、試合時間及び審判法

全日本剣道連盟剣道試合、審判規則、及び細則、大会申し合わせ事項による。

- イ、団体戦は2分、3本勝負、延長なし。
勝者数、勝本数共に同数の場合は代表者により決定戦を行う。
代表者は、任意の選手とし、3分、1本勝負とする。決しない時は
勝敗が決するまで3分毎時間を区切り延長する。但し、延長2回で勝負が
つかない場合、一度面を取り、給水時間を3分を取る。これを繰り返し行う。
 - ロ、個人戦は、3分、3本勝負、勝敗の決しない場合は、勝敗が決するまで、
3分毎時間を区切り延長する。但し、延長2回で勝負がつかない場合、
一度面を取り、給水時間を3分取る。これを繰り返す。
 - ハ、団体戦、個人戦ともに、低学年に対しては反則は取らず指導とする。
高学年に対しては、すべての反則を適用する。
- 二、試合中に転倒し、頭部を打った場合は、試合続行を中止する。

2、表彰

団体 1位、2位、3位(2チーム)

個人 1位、2位、3位(2人)、敢闘賞(4人)

※参加人数が15名以下の個人戦においては、敢闘賞を設けない。

※選手変更について

- 審判会議以降は、団体戦の選手変更は認めない。
(審判会議以降の選手変更は出来ませんのでご注意ください)
- 個人戦においては、選手変更は一切認めない。
(欠場の場合、他の選手を入れることは出来ません)

3、運営上の注意事項

- ・会場内での飲食は禁止致します。
- ・体育館は、全面禁煙です。
- ・ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・竹刀の点検は、事故防止の為、**厳重**にお願い致します。
- ・竹刀におきましては、床に置かず壁に立て掛けて下さい。
- ・試合中のフラッシュ撮影は、試合進行の妨げになりますので、禁止します。
- ・地震などの緊急事態が起きた場合は、冷静に行動しアナウンス指示に従ってください。

本部
席

愛鷹
岩松
桔梗
剣広会
修武会
神明館
誠学館
潜龍館
田子浦
富岳館
富士川剣志会
富士道場
元吉原
練武会

開会式には、各団の子供たちは順序良く
左図の様に、順序良く整列してください。

大会次第

開会式

1. 開会宣言
2. 国歌斉唱
3. 優勝旗返還並びに大村杯返還
前回優勝チーム 高学年 富岳館
低学年 元吉原A
4. 会長挨拶
5. 顧問、参与紹介
6. 試合上の注意 審判長 渡邊恭永
7. 選手宣誓 富岳館 鈴木健生
鈴木健世

演武

木刀による剣道基本技稽古法
演武者 元立ち 掛り手
桔梗剣道スポーツ少年団 安藤 秀晃 渡邊 壺斗
剣広会 佐藤 立昂 青木 要
修武会剣道スポーツ少年団 石川 蓮翔 岩渕 秀祐

試合

1. 個人戦(表彰は順次行う)
2. 団体戦

閉会式

1. 成績発表並びに表彰
2. 講評
3. 閉会宣言

大会役員

顧問相談役	高木 亮
顧問	鈴木善比幸、為田幸雄、時田聖司、高橋敏彦、米山和実
参加相談役	久保田啓嗣、稲葉昌博、鈴木貞男、高瀬裕功
会長	高橋正典
副会長	渡邊典夫
大会委員長	田中康宏、廣住雅人、上柳暢政
大会副委員長	望月弘和
大会審判長	川島健悟、今岡裕貴
審判員	渡邊恭永
大会運営委員長	次ページ参照
大会運営副委員長	大島一士
大会運営事務局	望月克人
大会総務局長	遠藤健一
事務局員	吉田正伸、時田明日香
進行計録	遠藤正人
受付接待	若田俊子
運営委員	遠藤健一
	鈴木淳也
	佐野佐富美、若田俊子
	時田明日香、久保田緑、佐野佐富美、稲葉京子
	青野仁映、稲葉浩輔、内海幸次、稲葉京子
	和泉知宏、遠藤広道、小川総一郎、鈴木大介
	上村岳利、菊池彰隆、久保田緑、黒田雅彦
	小山尚也、齋藤貴裕、坂本秀生、佐野佐富美
	鷺坂隆司、佐野昇一郎、辻村祥文、那須健治
	時田明日香、森博、吉田正伸、米山達彦
	若田賢太郎、加藤剛

時計・掲示

第一試合場	第二試合場	第三試合場	第四試合場
富岳館	愛鷹	神明館	潜龍館
誠学館	元吉原	岩松	修武会
富士川剣志会	富士道場	田子浦	剣広会
練武会	桔梗		

審判員名

【第一試合場】

主任 今岡 裕貴

審判 狩野見 忠謙
加藤 孝敏
齋藤 貴裕
稲葉 京子
望月 健次
菊池 章太
福室 義幸
佐野 劍志

【第二試合場】

主任 望月 隆充

審判 遠藤 広道
中村 彰斗
河合 輝
森 裕史
小山 尚也
望月 佑馬
長塚 智彦
鷺坂 悠右基

【第三試合場】

主任 土屋 和洋

審判 青島 昌孝
込山 貴徳
稲葉 弘高
酒井 芳和
仁藤 義行
杉浦 大三郎
田中 椋
田島 洸平

【第四試合場】

主任 鈴木 大介

審判 西尾 文彰
高木 秀
磯部 裕正
若田 賢太郎
米山 達彦
加藤 剛
上村 岳利
遠藤 秀人

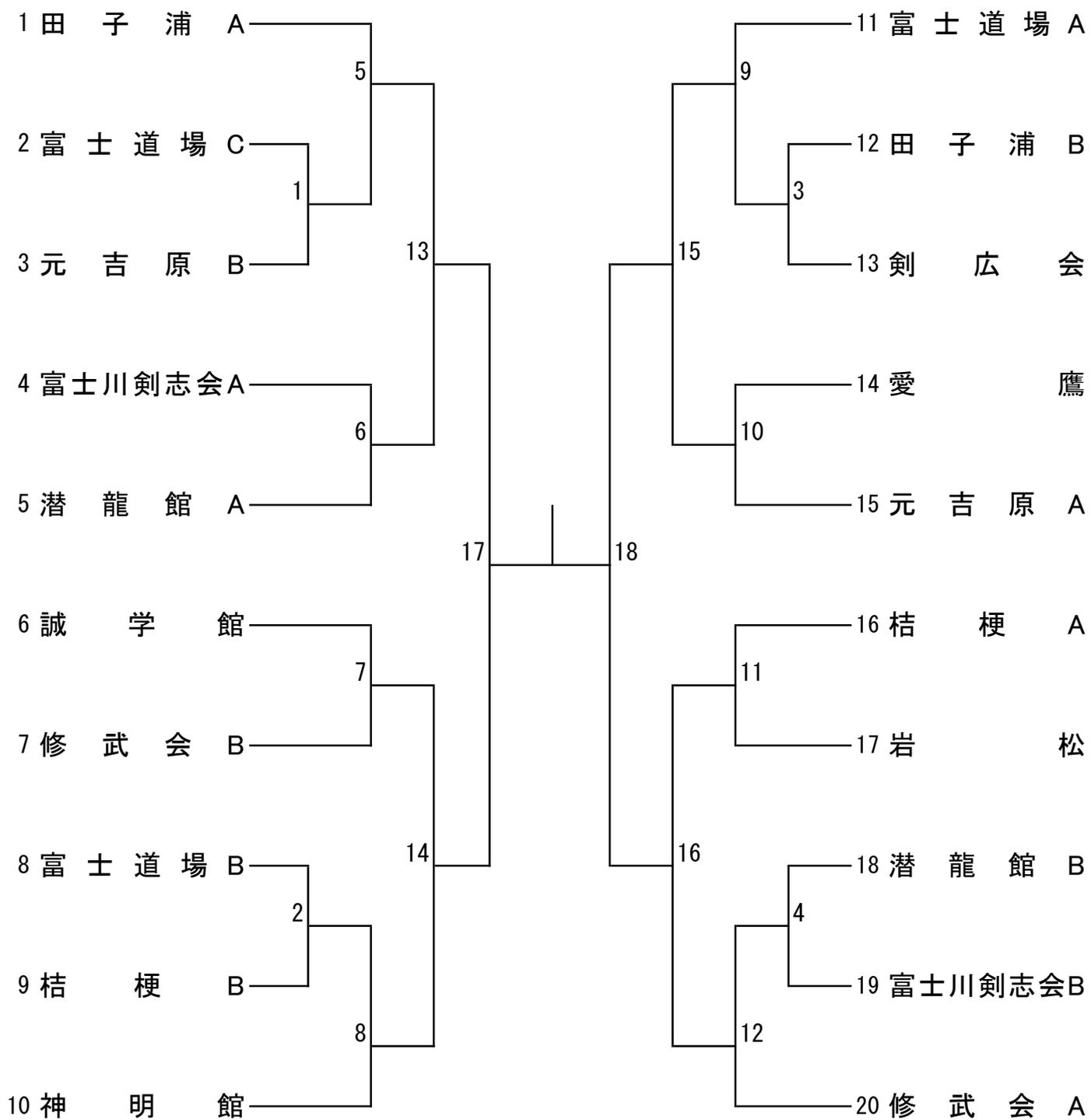
各試合場運営表

役員本部席

第2試合場	第1試合場
団体戦 高学年 11 ~ 20	団体戦 高学年 1 ~ 10
個人戦 5年男子	個人戦 6年男子
団体戦 低学年 決勝戦	団体戦 高学年 決勝戦
第4試合場	第3試合場
団体戦 低学年 7 ~ 12	団体戦 低学年 1 ~ 6
個人戦 3, 4年男子 3, 4年女子	個人戦 1, 2年男女 5, 6年女子

※ 団体戦は、試合進行の状況により試合場の変更となる場合がございます。
変更となる場合は、場内放送を入れますので、放送には十分注意してください。

団体戦 高学年 20チーム



優勝 _____

2位 _____

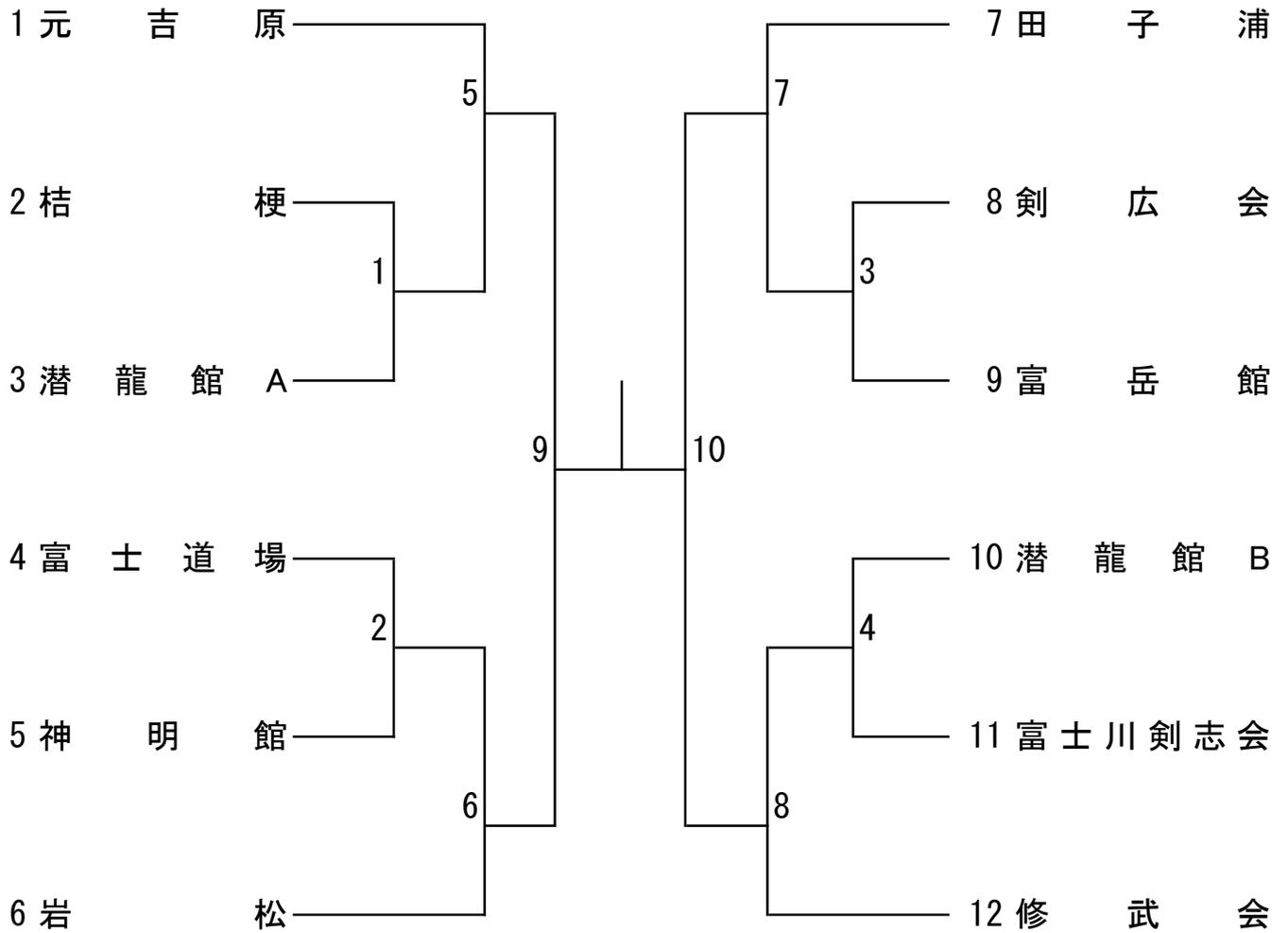
3位 _____

3位 _____

高学年 団体戦

団体名	先鋒	中堅	大将
修武会A	石川 蓮翔	遠藤 鳳之助	岩渕 秀祐
修武会B	赤渕 羽矢人	秋山 桃花	曲渕 はなね
誠学館	森竹 春	加藤 陽愛	森竹 洸太
富士道場A	岡田 朔	望月 唯愛	植松 勇伍
富士道場B	矢崎 康隆	李 佑吉	入野 芳治
富士道場C	鈴木 春欽	田中 佑	波平 雄成
元吉原A	小川 琥太郎	吉村 蒼空	高橋 怜愛
元吉原B	中村 唯知香		久保田 悠生
愛鷹	藤井 健太		鷺坂 虹季
岩松	田畑 蔵ノ助	鈴木 花実	渡邊 輝大
桔梗A	小谷 門土	嶋崎 明希	渡邊 壱斗
桔梗B	横井 廉	深澤 柚樹	安藤 秀晃
潜龍館A	柿本 夢海	望月 柚穂	杉浦 裕
潜龍館B	佐野 寛太		望月 陸成
剣広会	青木 要	土屋 友弘	佐藤 立昂
田子浦A	穴山 優里	高橋 玲渚	田島 湊翔
田子浦B	遠藤 蒼輔		李 菁揚
神明館	加藤 昴	吉行 勇騎	深澤 明德
富士川剣志会A	水谷 碧紫		高瀬 蒼士
富士川剣志会B	小永井 佑樹		能登 蓮

団体戦 低学年 12チーム



優勝

2位

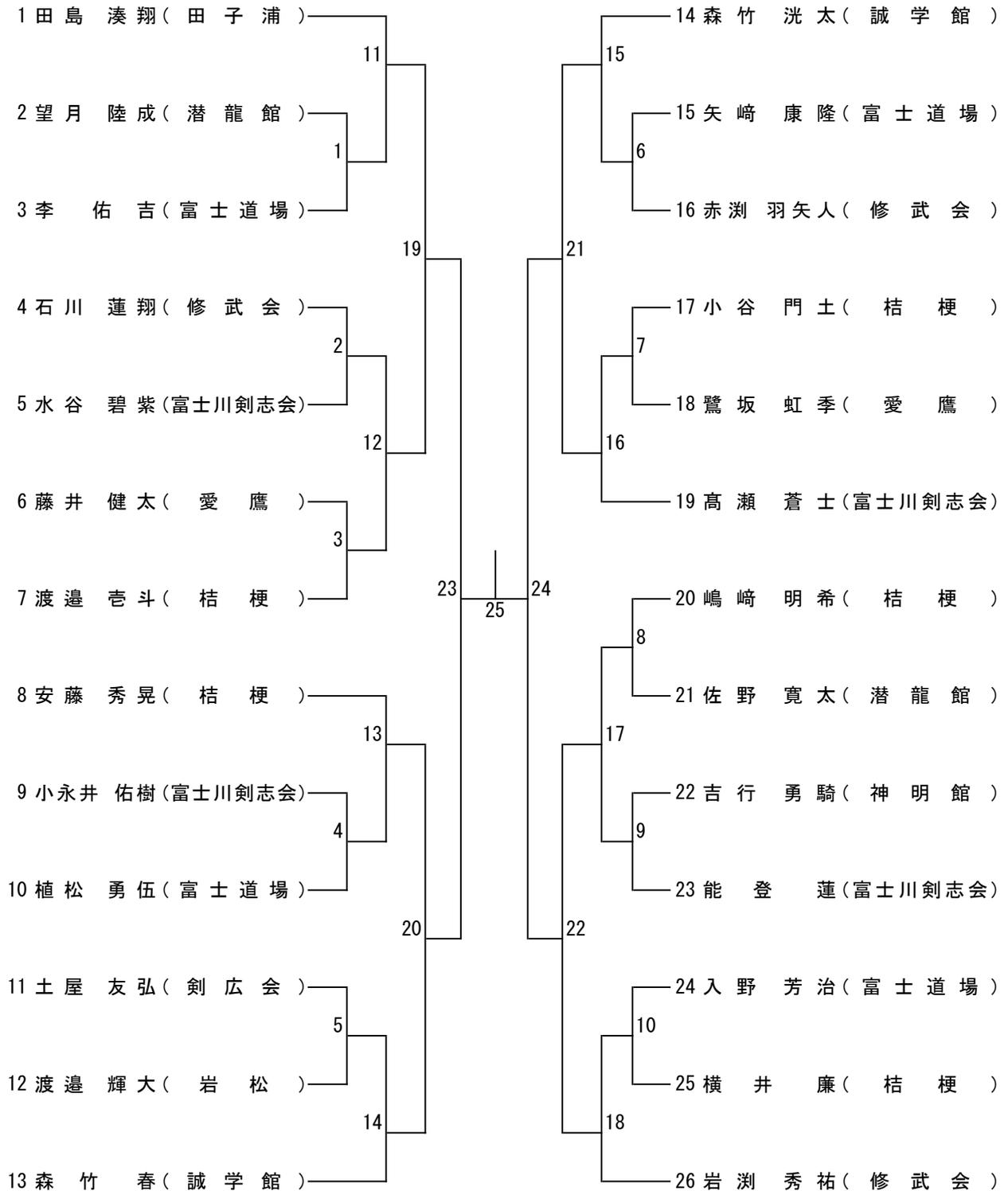
3位

3位

低学年 団体戦

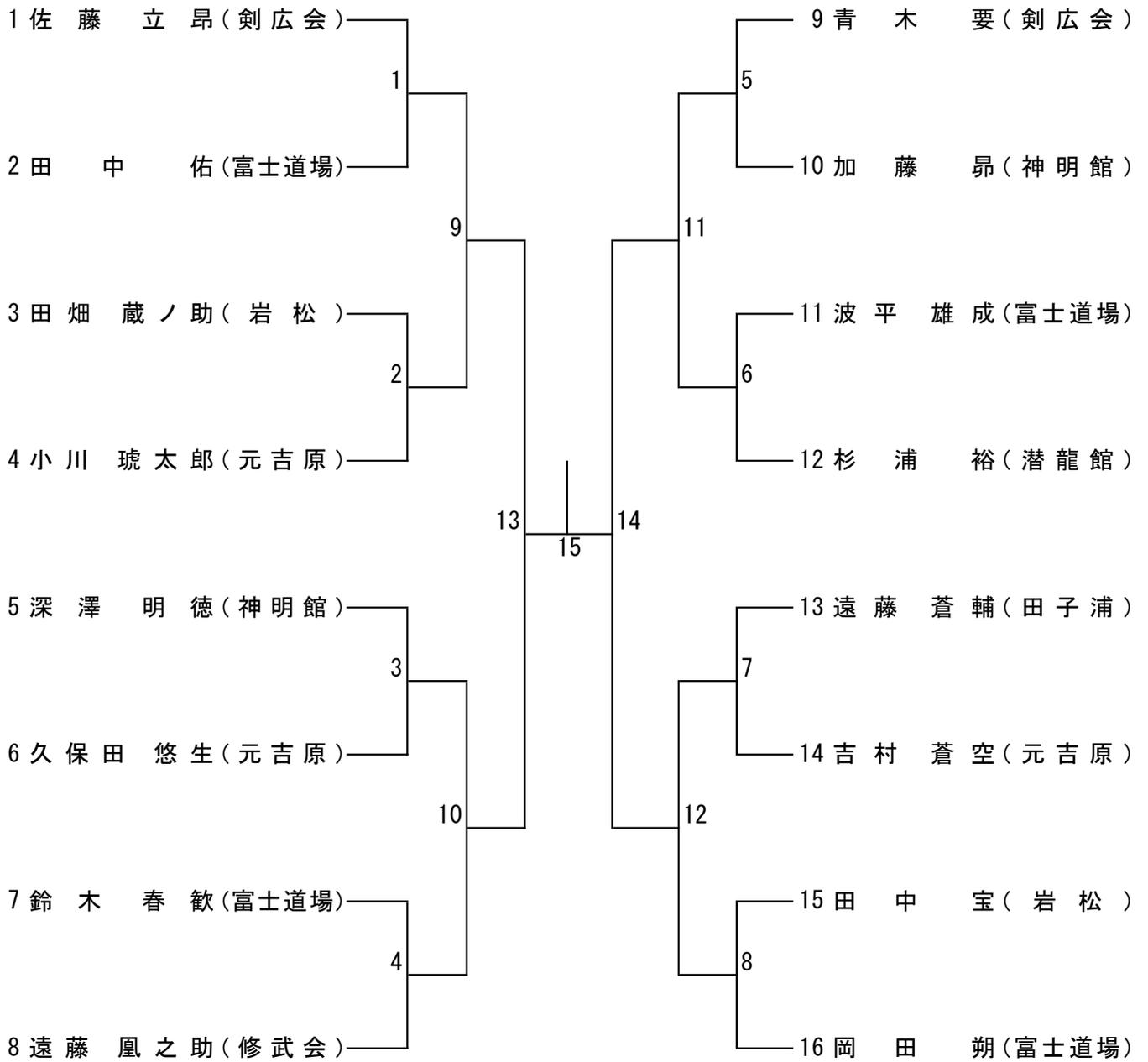
団体名	先鋒	中堅	大将
修武会	秋山 怜志	那須 光河	福田 真平
富岳館	鈴木 健世		鈴木 健生
富士道場	望月 梨愛	岡田 暁	矢崎 史織
元吉原	長橋 千晃	川口 琉羽久	高橋 優心
岩松	鈴木 道也	渡邊 光稀	渡邊 耀葉
桔梗	深澤 颯琉	清水 祐李	加藤 好
潜龍館A	望月 春瑠	望月 綾美	石井 蓮唯
潜龍館B	山本 千夏	石川 栞奈	上村 心泰
剣広会	翠 英祐	南園 珀斗	竹下 和希
田子浦	穴山 真悠	遠藤 夏央	田島 滯桜
神明館	吉行 茉白	小口 蒼一郎	渡邊 一貴
富士川剣志会	美尾 勇希		江口 さくら

個人戦 6年男子 26名



- | | |
|----|-----|
| 優勝 | 敢闘賞 |
| 2位 | 敢闘賞 |
| 3位 | 敢闘賞 |
| 3位 | 敢闘賞 |

個人戦 5年男子 16名



優勝 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

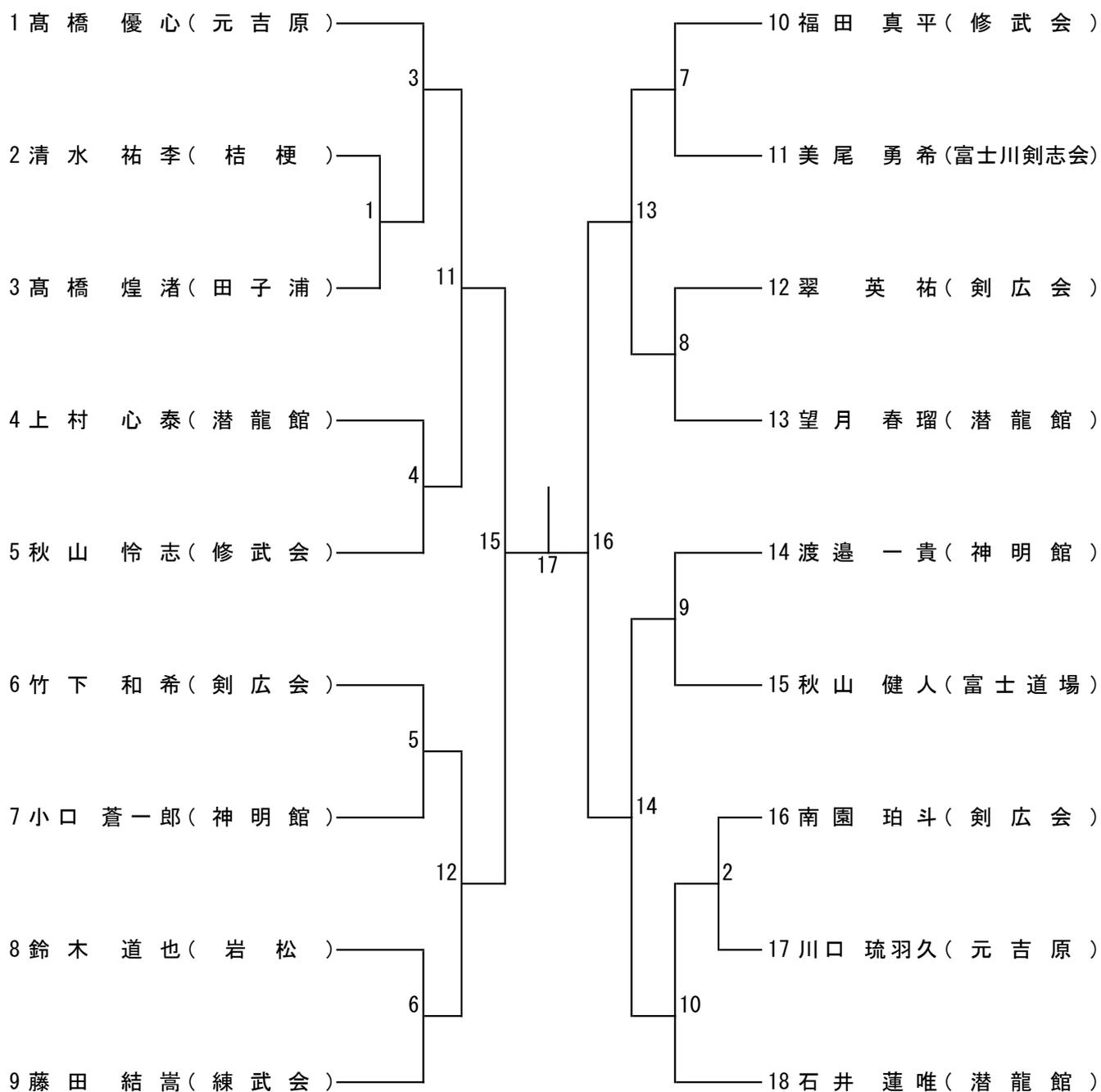
敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

個人戦 3.4年男子 18名



優勝 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

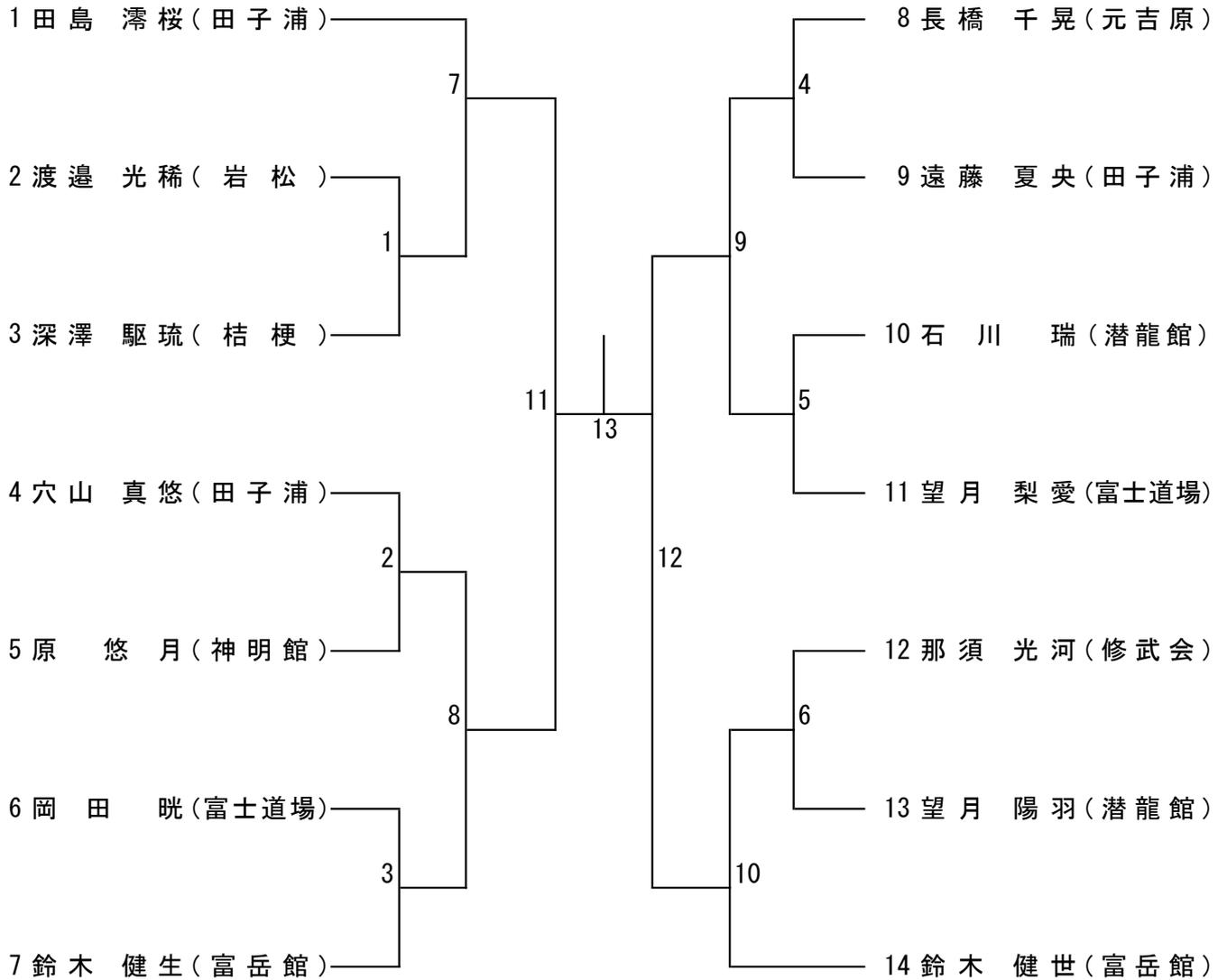
敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

敢闘賞 _____

個人戦 1.2年男女 14名



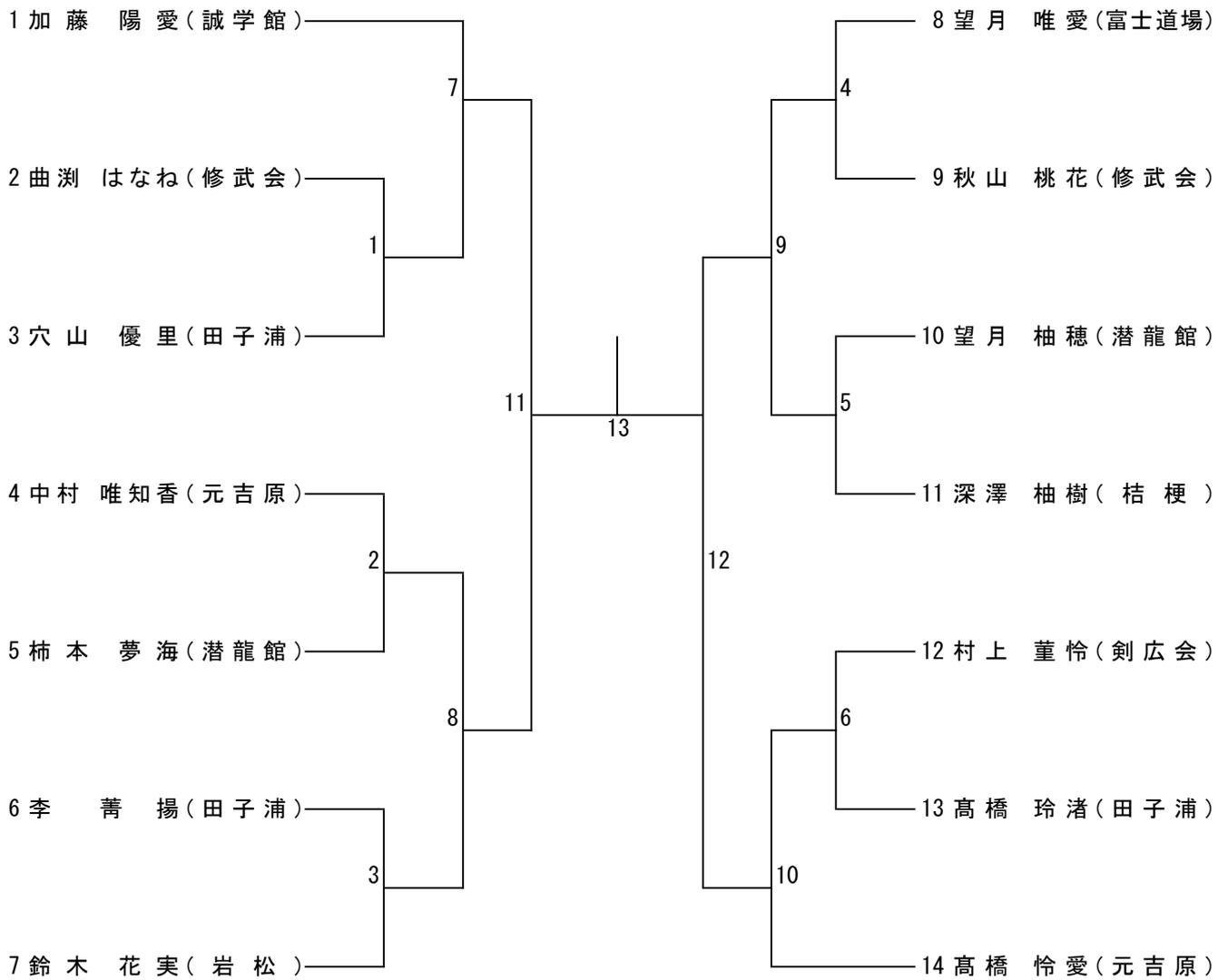
優勝 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

個人戦 5.6年女子 14名



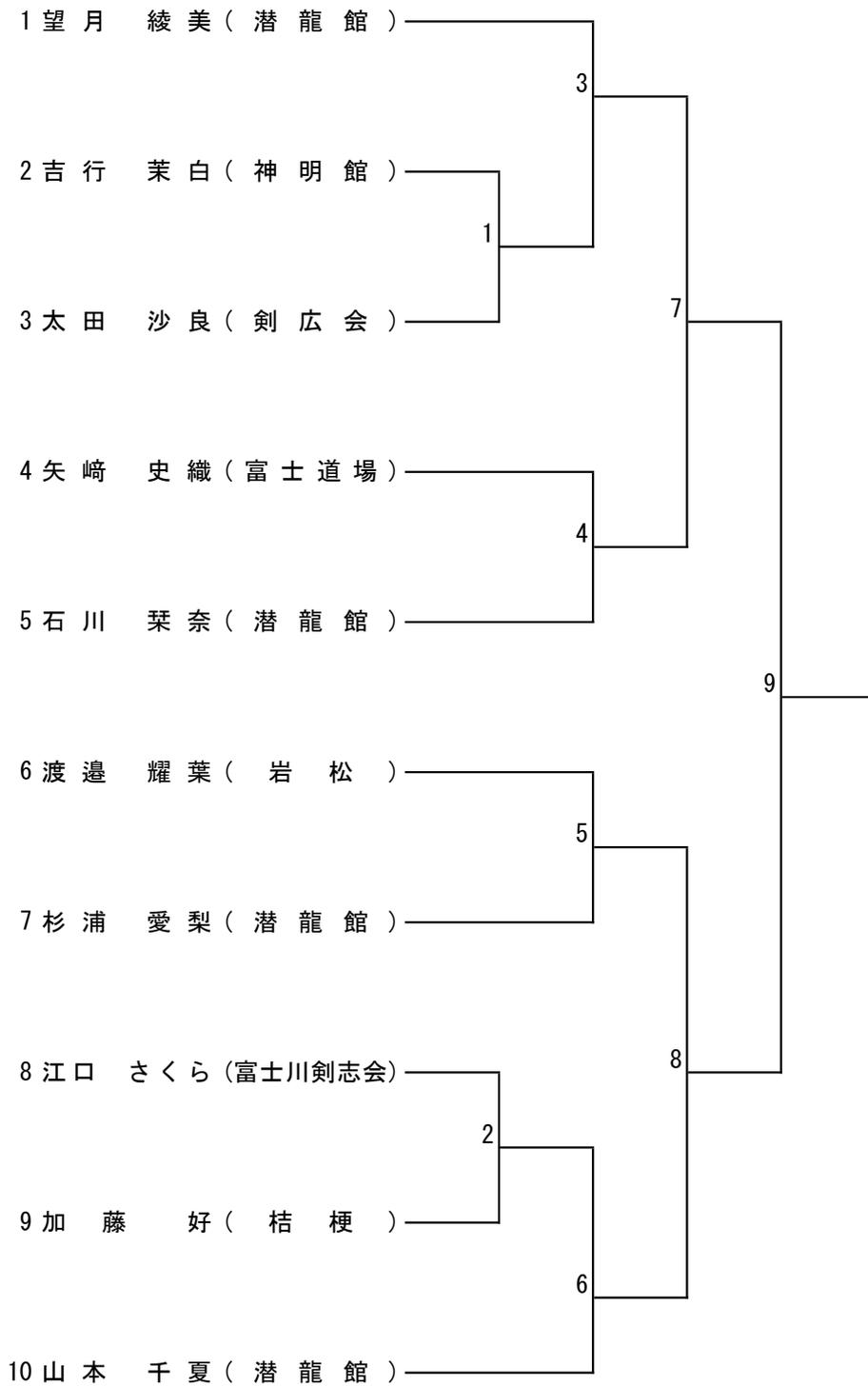
優勝 _____

2位 _____

3位 _____

3位 _____

個人戦 3.4女子 10名



優勝

2位

3位

3位

第56回 富士地区少年剣道大会表彰記録

令和8年3月8日
富士川体育館

高学年	優勝		2位		3位	
低学年	優勝		2位		3位	
6年	優勝		3位		敢闘賞	
男子	2位					
5年	優勝		3位		敢闘賞	
男子	2位					
3,4年	優勝		3位		敢闘賞	
男子	2位					
1,2年	優勝		3位			
男女	2位					
5, 6年	優勝		3位			
女子	2位					
3, 4年	優勝		3位			
女子	2位					